

有限会社小枝産業（音更町）

1979年の設立以来、建築業・車販売業を中心に点検修理・保険代理店・不動産業など、幅広い分野で事業展開をしています。

URL：<http://koedasangyou.com>

ゼロカーボンの取組

○軽油燃料の燃焼に伴うCO2排出量を削減

北海道における軽油燃料の消費によるCO2排出量をわずかでも減らすことはできないかと考え、2016年から自動車および産業機械用の燃料として、地球にやさしいBDF（バイオディーゼル）5%混合軽油燃料（通称B5）を取り扱う軽油スタンドを整備しました。

BDFの原料は、周辺地域から出た使用済み天ぷら油等の廃食油が中心で、地元企業が製造したものを販売しています。
B5の年間販売量はR3年度で約123,000Lとなっており、通常の軽油対比で、CO2排出量約7,380kg/年の削減と、廃食油の約6,150Lのリサイクルにも貢献しています。

【設備の例】

○B5取扱軽油スタンド

2016年から稼働。24時間365日給油できる状態で運用しています。



音更町で稼働している軽油スタンド

特に力を入れていること 工夫している点

○遠方の利用者の要望にも応える、 タンクローリー車によるB5燃料の配達

B5取扱軽油スタンドは、常に給油できる状態を維持していますが、誰もが気軽に訪れることができるわけではありません。スタンドから遠く離れた遠方において集中的な作業をする場合は、給油のための移動が不可能なことも多くあります。

そのため、最大8kLの燃料を積載可能なタンクローリー車を導入し、給油の依頼に応じてB5燃料を配送しています。B5配送による燃料の使用量は年間使用量の約40%を占めています。



B5燃料のタンクローリー

○B5燃料の自社内での活用

同社では、BDF給油タンクローリー、除雪用ホイールローダー、その他社用車の軽油を全てB5燃料としており、自社のCO2排出量削減にも取り組んでいます。

FUTURE VISION 今後の目標・取組

B5燃料を利用される方々は、地域の人口や法人数からすると未だごくわずかです。それはつまり、裏を返せば今後、普及の余地があるということです。

通常の軽油燃料と比べ、入手性の低さなど不利な条件はありますが、今後数十年、数百年の環境のためにも地域への普及に努め、継続的な環境の保全に向けて、広報と取組を継続していきます。